

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																											
大阪アニメーションカレッジ専門学校	平成16年3月30日	田中道信	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-7 (電話) 06-6369-5167																											
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																											
学校法人大阪創都学園	昭和63年3月30日	鈴木雅文	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話) 06-6369-5164																											
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																										
服飾・家政	文化・教養専門課程	総合学科(アニメプロデュースコース)	平成17年文部科学省告示第177号	-																										
学科の目的	教育基本法、及び学校教育法に基づきアニメーション製作及び作画表現に関し必要とされる技能を養成し、又は教育の向上を図ることを目的とする。																													
認定年月日	平成31年3月5日																													
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																								
3	2688	270	1470	948	0	0																								
生徒総定員	生徒定員	留学生数(生徒定員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
60人	33人	3人	4人	2人	6人																									
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～翌年3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前後期試験結果及び出席・平常点等総合評価																										
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏季: 7月21日～8月31日 ■冬季: 12月21日～1月9日 ■学年末: 翌年3月31日		卒業・進級条件	前後期総合評価結果及び2/3以上の出席																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話・家庭訪問及び保護者との情報共有		課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 地域ボランティア清掃活動、地域イベントでの似顔絵コーナーの出店「イラストワークショップ」開催など ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																										
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) アニメーション制作会社 ■就職指導内容 ・企業研修/就職活動対策講座/学内外での企業説明会 ■卒業生数 2人 ■就職希望者数 2人 ■就職者数 1人 ■就職率 50% ■卒業者に占める就職者の割合 50.0% ■その他 ・進学者数: 0人 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩士検定</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するが記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	色彩士検定	③	12人	9人																
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																											
色彩士検定	③	12人	9人																											
中途退学の現状	■中途退学者 2名 令和3年4月1日時点において、在学者 23名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者 21名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ・経済的理由・進路変更の為 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談を定期的に実施。個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。		■中退率 9%																											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																													
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																													
当該学科のホームページURL	ホームページにおいて公開(URL: http://www.osaka-anime.jp/data/)																													

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賞金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
③上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容についての関連な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本委員会は、各学科ごとに実施運営される。本委員会にて決議した内容については学校長へ答申し、学科別会議や各専攻分会、授業別会議等において、内容等について審議したうえで教育課程編成に可能な範囲で反映していくものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
遊佐 かずしげ	一般社団法人 練馬アニメーション 代表	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
高垣 雅彦	日本橋まちづくり振興 株式会社 日本橋CGアニメ村事務局 長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
国本 英樹	株式会社 EARLY WING 声優・SNT大阪事務局担当	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
畑中 太一	株式会社 クリエイターズインパック プロデューサー	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
小島 昌男	株式会社 ラクジン 管理部 課長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
酒井 勇二	大阪アニメーションカレッジ専門学校		総合学科 学科長
佐野 美波	大阪アニメーションカレッジ専門学校		声優学科 学科長
西嶋 信一郎	大阪アニメーションカレッジ専門学校		アニメーション学科 学科長
鈴木 祐	大阪アニメーションカレッジ専門学校		マンガ・イラスト学科 学科長
西尾 拓也	大阪アニメーションカレッジ専門学校		副校長

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年10月25日 18:00～20:00

第2回 令和4年4月13日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

作画系学生のSNSを利用した作品公開(自分から発信する力)も学校側から推奨し、そこから仕事に結びつけるために、著作権セミナー、SNS講座などのリテラシー教育にも力を入れている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム・授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業連携により目指す職業に必要な不可欠な色彩設計の基礎から幅広い知識と、実際に色を使うための技能の両方に重点をおいて色彩感覚を学びます。全国美術デザイン教育振興会が運営する「色彩士検定3級」を受験取得。又、業界の方を講師として直接指導及び作品審査、評価を頂き、成績評価を行います。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
色彩設計	色彩による視覚効果の理解を深め、作品の中に反映させることを目的とします。色彩士検定3級取得するための対策授業。	株式会社 色彩力ーサ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や各種表現活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、大阪創都学園 講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「WCCC教育関係者向け特別ウェビナー クリエイティブ業界最前線2021」(連携企業:株式会社ワコム)

期間: 令和3年6月4日(金) 対象: マンガ、イラスト、ゲーム、アニメ系教員

内容: 現在のクリエイティブ市場の概況およびアニメ/CG・ゲームの制作環境、技術での最新トレンドと課題のセミナー

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「第2回オンライン著作権セミナー」(連携企業等: ODGC大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会)

期間: 令和3年10月14日(木) 対象: 教員4名

内容: クリエイターとして著作権を正しく理解

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「WCCC教育関係者向けクリエイティブ業界オンラインセミナー」(連携企業等: 株式会社ワコム)

期間: 令和4年9月予定 対象: 教員5名

内容: 現在のクリエイティブ市場の概況及び業界のワークフローに基づく技術トレンド、取り組みと傾向、学生に求められるスキル等の解説

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「オンライン授業の為の著作権セミナー」(連携企業等: 株式会社ベネッセiキャリア)

期間: 令和5年3月23日(木) 対象: 教職員60名

内容: オンライン授業を実施するにあたり教員が知っておくべき著作権と使用実例を学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そして、さらなる教育活動へつなげていくために多角的にその運営が適正に行われているのかを審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・学校関係者評価を基に、新型コロナウイルス感染症予防対策のガイドライン及びマニュアルを作成し、学内での行動指針と教職員、在校生に対して感染予防の周知啓蒙活動を行い授業運営を実施。又、授業内用の特性を考慮した上で、対面型とリモート型に分けてカリキュラムを構築している。
 ・産学協同授業では、例年通り実施し高い学習効果を得ている。
 ・複数高校との教育プログラム提携を実施。専門的カリキュラムを高校生向けに再構築し、卒業生支援の一環で本校卒業生を高校へ派遣。アニメーションの授業を実施している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
瀧川 紀征	江坂企業協議会 副会長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	地域関係者
東 龍太郎	科学技術学園高等学校 通信課程大阪分室長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	教育関係者
三原 淑治	エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	業界関係者
北原 優希	株式会社キャラ 所属ナレーター・タレント	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.osaka-anime.jp/data/>

公表時期: 10月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の理念でもある、“業界にとって信頼できる人材育成機関であること”を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべきである。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3) 教職員	講師、特別講師
(4) キャリア教育・実践的職業教育	産学協同特別授業
(5) 様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6) 学生の生活支援	※該当なし
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	※該当なし
(11) その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.osaka-anime.jp/data/>

授業科目等の概要

(文化・教育専門課程 総合学科 アニメプロデュースコース)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		デッサン	形を捉えるクロッキー力や明暗、立体感などの捉え方を学び、基礎的な画力をつけ、ものを見る観察力を養い大型デッサンや応用的な作品作りを目指す。	3年間通年	420	28	○			○		○		
2	○		業界概論	将来進む進路である業界を知り、業界に進むための基礎知識を身につけ、就職デビューに向けた指導を含めたポートフォリオ制作	3年間通年	180	12	○			○		○		
3	○		色彩設計	色彩士検定3級公式テキストを使用し、色彩の基礎から応用までの幅広い知識と技能を指導する	1年半期	30	2	○			○			○ ○	
4		○	作画基礎	デジタル作画の基礎を学ぶ アニメーターに必要な動画の基礎知識やテクニックを学ぶと共に作画のスピードアップを目指す	1年通年	120	4			○	○		○		
5		○	デジタルワーク	業界標準のPhotoshop、Illustratorの基本を学び、作品の制作までを学ぶ。	1年通年	60	4	○			○		○		
6		○	背景	背景美術の仕事を理解しポスターカラーを使ったアナログ背景の基本的な表現技法を身に付ける。透視図法をふまえた空間表現を学ぶ。実践的描画力の強化背景作画における実践的な応用技術を理解し現場適応力の強化を目指す。	3年間通年	300	20	○			○		○		
7		○	構造作画	作画に必要な知識と描画力を身につける 動画の基本知識の習得と絵描きとして必要な描画力の向上を目指す。	1年半期	60	2			○	○		○		
8		○	アニメ制作	1年次は「産学協同アニメ」の制作を通して、アニメ制作の一連の流れを学び、プロとしての責任感とコミュニケーションの必要性を学ぶ。2年次は1年生に学んだ基本動画の復習と就職に向けた作品制作および卒業制作作業	1/2年通年	180	12	○			○		○		
9		○	映像演出	脚本を元に絵コンテの見方、書き方を学び、具体的な映像演出を学びます。映像制作の作法や段取り、映像表現のテクニックを学びます。	1年半期	30	2	○			○			○	
10		○	パースペクティブ	遠近法・透視図法を学び、調和のとれた人物・人工物・背景作画の基礎を学ぶ。	1年半期	30	2	○			○		○		
11		○	アニメ・コミック概論	アニメ・コミックの変遷を学んで次世代アニメの表現や可能性を考える。	1年半期	30	2	○			○			○	
12		○	デジタル作画	1年次はCLIP STUDIO PAINTを用いて、フルデジタルでの人物・エフェクト描画の実習。3年次はデジタル作画を使った実践的な動画作成を学び就職に向けて、より高度な知識やテクニックを学ぶと共に作画のスピードアップを目指す	1/3年通年	150	5			○	○		○		

13	○	デジタルペイント	RETAS!によるデジタル彩色技術を学ぶことで、アニメ制作の一連の流れと必要な素材の必要性を学ぶ。	1 年 半 期	30	1			○	○			○
14	○	3DCG制作	Mayaにおける基礎的なポリゴンモデリング、カーブモデリングを中心に学びます。基モデリング、マテリアル設定、キャラクター作成、スケルトン、スキニング、カメラワークなど3Dアニメーション制作を学びます。	/3 2 年 通 年	240	16			○	○			○
15	○	ゲーム企画	WEBデザインのTOPページを、ジャンル別に作成。幅広い絵柄で作成するよう意識してもらう。ゲームを意識したUIなども作成していく。	/3 2 年 通 年	120	4			○	○			○
16	○	撮影・編集	After EffectsやPremiereの操作を学び、映像表現の幅を広げる	2 年 通 年	120	4			○	○			○
17	○	卒業制作	オリジナル短編アニメの制作とプレゼンテーション能力を養う	3 年 通 年	120	8			○	○			○
18	○	web制作	就職や卒業作品展示会に向けた展示用作品のデジタルフォーマット化。また、デジタルツールを用いた作品の制作。	3 年 通 年	120	8			○	○			○
19	○	特別授業	江坂公演、日本民家集落博物館での野外スケッチ会、芸術鑑賞、似顔絵、クロッキー強化授業など年間通じて様々な面からスキルをアップする特別授業を行います。		104	1			○	○			
20	○	イベント制作	毎年秋に実施される学園祭、CAT祭りを通じイベント制作のプロセスを学びます。クラス単位での参加やグループ毎の参加も可能とし実行委員会を通じて模擬店や作品発表ステージパフォーマンスを行います。		60				○	○			
21	○	作品展	毎年年度末に実施する「進級卒業作品展」です。全ての授業の集大成として全学年の個人作品を展示します。外部企業様やご父兄にもご案内し、ご来場者の投票により優秀作品を選出し表彰します。		132	3			○	○			
22	○	業界研究	就職活動に必要な知識と経験を得るために様々なシミュレーションを実施します。		52				○	○			
合計				科目	2688単位時間(146単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。尚、各科目の試験などの内容については、各学科長及び担任と授業担務者が打ち合わせの上、決定する。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																											
大阪アニメーションカレッジ専門学校	平成16年3月30日	田中道信	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-7 (電話) 06-6369-5167																											
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																											
学校法人大阪創都学園	昭和63年3月30日	鈴木雅文	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-29-18 (電話) 06-6369-5164																											
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																										
服飾・家政	文化・教養専門課程	総合学科(総合コミックコース)	平成17年文部科学省告示第177号	-																										
学科の目的	教育基本法、及び学校教育法に基づきマンガ・アニメ・イラストに関し必要とされる技能を養成し、それらを総合的に理解しプロデュースする知識や技術を身につける。又は教育の向上を図ることを目的とする。																													
認定年月日	平成31年3月5日																													
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																								
3	2688	270	1410	888	0	120																								
生徒総定員	生徒定員	留学生数(生徒定員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
60	33人	3人	4人	2人	6人																									
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～翌年3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 前後期試験結果及び出席・平常点等総合評価																										
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏季: 7月21日～8月31日 ■冬季: 12月21日～1月9日 ■学年末: 翌年3月31日		卒業・進級条件	前後期総合評価結果及び2/3以上の出席																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話・家庭訪問及び保護者との情報共有		課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 地域ボランティア清掃活動、地域イベントでの似顔絵コーナーの出演「イラストワークショップ」開催など ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																										
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) アニメーション制作会社 ■就職指導内容 ・企業研修/就職活動対策講座/学内外での企業説明会 ■卒業生数 2人 ■就職希望者数 2人 ■就職者数 1人 ■就職率 50% ■卒業者に占める就職者の割合 50.0% ■その他 ・進学者数: 0人 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩士検定</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するが記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	色彩士検定	③	12人	9人																
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																											
色彩士検定	③	12人	9人																											
中途退学の現状	■中途退学者 2名 令和3年4月1日時点において、在学者 23名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者 21名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ・経済的理由・進路変更の為 ■中退防止・中退者支援のための取組 個人面談を定期的に実施。個別のマッチング状況を確認。また、毎月の出席率管理を行い保護者とも連絡を取り登校を促すことで継続意欲を持たせる。		■中退率 9%																											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																													
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																													
当該学科のホームページURL	ホームページにおいて公開(URL: http://www.osaka-anime.jp/data/)																													

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会においては、本校教育課程充実に向け、各学科関連業界との連携を密にし、現状カリキュラムの確認や今後取り入れていくべき内容についての闊達な意見交換を行う。また、審議内容についての本校教育課程への導入等について審議していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本委員会は、各学科ごとに実施運営される。本委員会にて決議した内容については学校長へ答申し、学科別会議や各専攻分会、授業別会議等において、内容等について審議したうえで教育課程編成に可能な範囲で反映していくものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
遊佐 かずしげ	一般社団法人 練馬アニメーション 代表	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
高垣 雅彦	日本橋まちづくり振興 株式会社 日本橋CGアニメ村事務局 長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
国本 英樹	株式会社 EARLY WING 声優・SNT大阪事務局担当	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
畑中 太一	株式会社 クリエイターズインパック プロデューサー	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
小島 昌男	株式会社 ラクジン 管理部 課長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
酒井 勇二	大阪アニメーションカレッジ専門学校		総合学科 学科長
佐野 美波	大阪アニメーションカレッジ専門学校		声優学科 学科長
西嶋 信一郎	大阪アニメーションカレッジ専門学校		アニメーション学科 学科長
鈴木 祐	大阪アニメーションカレッジ専門学校		マンガ・イラスト学科 学科長
西尾 拓也	大阪アニメーションカレッジ専門学校		副校長

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年10月25日 18:00～20:00

第2回 令和4年4月13日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

作画系学生のSNSを利用した作品公開(自分から発信する力)も学校側から推奨し、そこから仕事に結びつけるために、著作権セミナー、SNS講座などのリテラシー教育にも力を入れている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は、カリキュラム・授業構築において業界関係企業との連携を密にし、実践に対応した教育内容を提供するために努力していく。また、内容に応じて業界関係企業と提携し、実技・実習・演習等の運営を委託し実施していく。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業連携により目指す職業に必要な不可欠な色彩設計の基礎から幅広い知識と、実際に色を使うための技能の両方に重点をおいて色彩感覚を学びます。全国美術デザイン教育振興会が運営する「色彩士検定3級」を受験取得。又、業界の方を講師として直接指導及び作品審査、評価を頂き、成績評価を行います。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
色彩設計	色彩による視覚効果の理解を深め、作品の中に反映させることを目的とします。色彩士検定3級取得するための対策授業。	株式会社 色彩力ーサ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員が学校の基本方針を理解し業務を遂行する上において、自身の自己研鑽に努めることの必要性を理解するとともに、学生・生徒の人材育成において必要な知識や技術の習得を目的とする。また、全体での実施はもちろん、自己研鑽における自発的な研修参加や各種表現活動等についても業務に支障のない範囲でバックアップする。教員は、大阪創都学園 講師・教職員研修規定に基づいて、学園又は各種団体等の研修を受け、資質の向上に努めていく。その内容については、教務部が定める年間行事予定において計画される。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「WCCC教育関係者向け特別ウェビナー クリエイティブ業界最前線2021」(連携企業:株式会社ワコム)

期間: 令和3年6月4日(金) 対象: マンガ、イラスト、ゲーム、アニメ系教員

内容: 現在のクリエイティブ市場の概況およびアニメ/CG・ゲームの制作環境、技術での最新トレンドと課題のセミナー

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「第2回オンライン著作権セミナー」(連携企業等: ODGC大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会)

期間: 令和3年10月14日(木) 対象: 教員4名

内容: クリエイターとして著作権を正しく理解

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「WCCC教育関係者向けクリエイティブ業界オンラインセミナー」(連携企業等: 株式会社ワコム)

期間: 令和4年9月予定 対象: 教員5名

内容: 現在のクリエイティブ市場の概況及び業界のワークフローに基づく技術トレンド、取り組みと傾向、学生に求められるスキル等の解説

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「オンライン授業の為の著作権セミナー」(連携企業等: 株式会社ベネッセiキャリア)

期間: 令和5年3月23日(木) 対象: 教職員60名

内容: オンライン授業を実施するにあたり教員が知っておくべき著作権と使用実例を学ぶ

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価においては、本校にて実施している自己評価を基に、業界企業・教育団体・地域との連携による教育活動など、本校教育活動についてを説明。そして、さらなる教育活動へつなげていくために多角的にその運営が適正に行われているのかを審議・助言いただき、今後の発展・改善に寄与していく。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・学校関係者評価を基に、新型コロナウイルス感染症予防対策のガイドライン及びマニュアルを作成し、学内での行動指針と教職員、在校生に対して感染予防の周知啓蒙活動を行い授業運営を実施。又、授業内用の特性を考慮した上で、対面型とリモート型に分けてカリキュラムを構築している。
 ・産学協同授業では、例年通り実施し高い学習効果を得ている。
 ・複数高校との教育プログラム提携を実施。専門的カリキュラムを高校生向けに再構築し、卒業生支援の一環で本校卒業生を高校へ派遣。マンガイラストの授業を実施している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
瀧川 紀征	江坂企業協議会 副会長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	地域関係者
東 龍太郎	科学技術学園高等学校 通信課程大阪分室長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	教育関係者
三原 淑治	エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	業界関係者
北原 優希	株式会社キャラ 所属ナレーター・タレント	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.osaka-anime.jp/data/>

公表時期: 10月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の理念でもある、“業界にとって信頼できる人材育成機関であること”を実践していくためには、本校教育内容等の情報提供について積極的に行っていくべきである。本校は、学生の日常・教育内容などについてWEBサイト・冊子の発行等を通じて行っていくこととする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	各専攻カリキュラム概要
(3) 教職員	講師、特別講師
(4) キャリア教育・実践的職業教育	産学協同特別授業
(5) 様々な教育活動・教育環境	日常トピックス、行事レポートの公表
(6) 学生の生活支援	※該当なし
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項、教育ローンの案内
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	※該当なし
(11) その他	※該当なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.osaka-anime.jp/data/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 総合学科 総合コミックコース)																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
1	○		デッサン	形を捉えるクロッキーカや明暗、立体感などの捉え方を学び、基礎的な画力をつけ、ものを見る観察力を養い大型デッサンや応用的な作品作りを目指す。	3 年 間 通 年	420	28			○				○		
2	○		業界概論	将来進む進路である業界を知り、業界に進むための基礎知識を身につけ、就職デビューに向けた指導を含めたポートフォリオ制作	3 年 間 通 年	180	12			○				○		
3	○		色彩設計	色彩士検定3級公式テキストを使用し、色彩の基礎から応用までの幅広い知識と技能を指導する	1 年 半 期	30	2			○					○	○
4		○	デジタル表現	photoshop、illustrator、コミックスタジオ等のデジタルツールの基本を学び、デジタル作品を作れるようになる。その後、CLIP STUDIO PAINTを使用しデジタル漫画原稿の描画・制作の基礎を学ぶ。	1 ・ 2 年 通	240	8				○					○
5		○	作品制作	1年次は短ページ制作を通じてエピソード作り・見せ方・ストーリー構築を学び16ページの漫画の完成を目指す。2年次、3年次は担当付を目的としたマンガ制作。プロット、ネーム、下書き、ペン入れ、仕上げのチェック、年間2本の漫画を完成を目指す。	3 年 間 通 年	510	36			○						○
6		○	コミック表現技法	漫画の作画に必要なテクニックの基礎を学びます。	1 年 通 年	120	4				○					○
7		○	DTP	AdobeIllustratorにおける各ツールを理解し、イラストやDTPなど様々な目的に合わせ、作品を仕上げる。イラストレータ上で使用する画像はAdobePhotoshopを使用する。	1 ・ 2 年 通	180	6				○					○
8		○	シナリオ	基礎知識や心構え、構成員など総合的なテクニックを身につけ、独自のストーリーが創作ができる表現者をめざす講座。また多くの実例からそのテクニックやその意図、独自性を学び、取材することの大切さとセンスも養う。	1 年 通 年	60	4			○						○
9		○	色彩構成	絵の具（透明水彩、ポスカラ）の扱い方、混色を学び、色彩感覚の幅を広げ、自分の作品作りに活かせるようにする。	1 ・ 2 年 半 期	120	8				○					○
10		○	ビジネスコミック	自分が何を描きたいか、ではなく、クライアントが何を求めているかを知り、その要請に応えるビジネス用漫画制作を学ぶ	2 年 半 期	60	4				○					○
11		○	エフェクトデザイン	魔法や自然現象のエフェクト素材を作成し、アニメーションさせる。作った作品はhtml、html5上で動くように編集します。基本、prominenceを使いますが、アバターエフェクトも使えるようになってもらいます	3 年 半 期	60	4				○					○
12		○	ポートフォリオ	就職、デビューに必要なポートフォリオの基礎知識と制作実技を学ぶ。各学生の進路に即したポートフォリオ制作指導	3 年 通 年	120	8				○					○

13	○	プロダクト制作	自分のイラストを生かした、架空の企業やお店、イベントなどを想定。プロダクト制作をしてもらいます。	3年 通年	120	8		○		○			○	
14	○	撮影・編集	映像ソフトの技術習得を目的に、アニメーション的な映像作品を制作する。止まった画を動かすことで、見せ方や面白さを考え、今後の漫画制作の向上を図る。	3年 通年	120	4			○	○			○	
15	○	特別授業	江坂公演、日本民家集落博物館での野外スケッチ会、芸術鑑賞、似顔絵、クロッキー強化授業など年間通じて様々な面からスキルをアップする特別授業を行います。		104	3				○			○	
16	○	イベント制作	毎年秋に実施される学園祭、CAT祭りを通じイベント制作のプロセスを学びます。クラス単位での参加やグループ毎の参加も可能とし実行委員会を通じて模擬店や作品発表ステージパフォーマンスを行います。		60	2				○	○		○	
17	○	作品展	毎年度末に実施する「進級卒業作品展」です。全ての授業の集大成として全学年の個人作品を展示します。外部企業様やご父兄にもご案内し、ご来場者の投票により優秀作品を選出し表彰します。		132	4				○	○		○	
18	○	業界研究	就職活動に必要な知識と経験を得るために様々なシミュレーションを実施します。		52	1				○			○	
19														
20														
合計				科目	2688単位時間(146位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学則、第21条、第22条に則り、各学期末の試験結果及び所定の出席日数により決定する。尚、各科目の試験などの内容については、各学科長及び担任と授業担務者が打ち合わせの上、決定する。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。